

英語科学習指導案

日時：平成19年9月26日(水) 5校時

学級：九戸村立九戸中学校

2年A組(男子16名,女子14名 計30名)

場所：2年A組 教室

授業者：奥平 直子

1 単元名 Unit 4 Homestay in the United States (NEW HORIZON ENGLISH COURSE BOOK)

2 単元設定の理由

(1) 教材性や指導価値について

本単元では、ホームステイにおける生活上の話題を取り上げている。Starting Out から Dialog では、家族の一員として心がけることを中心に触れ、Reading for Communication では、ホームステイに来ている生徒からの相談と、それに対する先生の応答という内容で構成されている。「完璧な英語でなくてもよいから積極的に話すこと」「率直かつ丁寧に自分の意思を伝えること」などホームステイに限らずコミュニケーションをする上で大切なことを学ぶのに適した題材である。

文法事項は、have(has) to、don't(doesn't) have to、will、must、mustn'tの助動詞を扱う。1学年で既習のcan、can'tを用いた文を想起させながら語順・意味・用法についてしっかりと理解を図りたい。

(2) 生徒の実態

比較のおとなしい生徒が多く、発表や音読の声もそれほど大きくない。また、理解が困難で、授業についてくるのが難しい生徒もいる。しかし、発言や音読で学級をリードしようとする生徒たちを中心にして授業が展開し、ペアワークなども男女に関係なくきちんと行うことができる。

今年度7月に実施したNRTテスト結果の全国との比較では、大領域別・聞くこと102・話すこと86・読むこと93・書くこと78と、「書くこと」において落ち込んでいることがわかる。特に、項目別では「基本的な単語や英文を書くこと」が全項目中一番落ち込んでおり、根本的な語彙力・構文に対する知識が不十分なことがわかる。この実態をふまえて自己表現活動に取り組みさせるために、共通の表現(絵カード)を活用して基本表現を確実に定着させ、まとまりのある複数の文での表現ができるような機会を多く設定し、繰り返し取り組むことで書く力を付けていきたい。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

【題材】

ホームステイにおける心がまえと自分の意思を率直かつ丁寧に伝えることの大切さを理解する。

【言語事項】

助動詞を含む英文の構造・意味・用法を理解し、それらを正確かつ適切に英文で表現することができる。

(2) 単元の評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

助動詞を含む文を用いて進んで対話しようとする。(話すこと、聞くこと)

本文の音読練習や言語活動に積極的に取り組み、進んで発表しようとする。(読むこと)

【表現の能力】

助動詞を含む英文を正しい語順と適切な内容で書くことができる。(書くこと)

正しい発音やアクセントに心がけ、内容が伝わるように音読することができる。(読むこと)
 助動詞を含む英文を正しい語順と適切な内容で対話することができる。(話すこと)

【理解の能力】

ホームステイに関する内容の英文を聴き、質問に正しく答えることができる。(聞くこと)
 ホームステイについて書かれた内容を正しく読み取ることができる。(読むこと)

【言語や文化についての知識・理解】

基本的な語句や文の発音の仕方、アクセントの位置を理解する。(話すこと、読むこと)
 助動詞を含む英文の意味と構造を理解する。(書くこと)
 コミュニケーションの大切さや、ホームステイにおける心がまえとアメリカの生活習慣について理解する。

4 指導と評価の計画 (Unit 4・・・8時間計画)

時数	主な学習	観点別評価の重点領域												学習活動における 主な具体的評価規準				
		関・意・態				表現				理解		言語・文化						
		L	S	R	W	S	R	W	L	R	L	S	R		W			
1.5 (本時1/1.5)	【 Starting Out 】 ・ ホームステイにおける心得を知る。 ・ have(has)to, don't(doesn't) have to を用いた文の構造・意味・用法を理解し、表現する。																	B: 自分の日課として「しなければならないこと」、「しなくてもよいこと」を have to と don't have to を使い、正しい語順と相互に関連する内容で連続した2文を書くことができる。 A: 自分の発想で「しなければならないこと」、「しなくてもよいこと」を対になる英語を2文で書くことができる。 努力: have to ~ の意味とそれを含む英文の語順について再度指導する。
1.5	【Dialog】 ・ will を含む文の構造・意味・用法を理解し、簡単な対話を行う。																	B: 対話の中で、will を用いて自分の意志を正しく適切に伝えることができる。 A: 教科書本文の語句を換えたり、加えたりしながら、対話を展開させることができる。 努力: 教科書を見せながら、発音が困難な文や語句に焦点をあてながら音読指導を行う。
1.5	【Reading for Communication. 注意すべきことを書こう】 ・ ホームステイにおける相談やそれに対する助言を読み、自分の意思を伝えることとホストファミリーの一員であることの自覚を持つことの大切さを理解する。																	B: それぞれの助動詞の意味を考えながら、相談・助言内容を正しく読み取ることができる。 A: 教科書本文の相談・助言内容を正しく読み取ったうえで、適切な助言を他に考え、発表できる。 努力: それぞれの助動詞の意味・用法を再度指導する。
1.5	【 Reading for Communication. 注意すべきことを書こう】 ・ ホームステイにおける相談やそれに対する助言を内容が相手に伝わるように音読する。 ・ 日本でホームステイをする際に「注意すべきこと」を助動詞を用いて表現する。																	B: アメリカでの生活習慣を表す英文と対比させながら、日本の生活習慣について助動詞を用いて正しく書くことができる。 A: 教科書に無い事例を他に考え、助動詞を用いて日米の生活習慣の違いについて正確かつ適切に書くことができる。 努力: 否定文への転換や、語句の置換をヒントとして与える。

1	<p>【Listening Plus 4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームステイについてのスピーチを聞いて内容や大切な情報を聞き取り、質問事項を考える。 																			<p>B: 聞き取りの観点に沿って、スピーチの内容を正しく聞き取ることができる。</p> <p>A: 問われた以外の内容についても正しく聞き取りことができる。</p> <p>努力: 問われている部分の英文を教師が口頭で繰り返した後、板書する。</p>
1	<p>【まとめと練習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 助動詞を含む英文の構造・意味・用法を理解する。 																			<p>B: 助動詞を含む適語を補充したり、語群を並べ替えながら、内容に合う英文を完成できる。</p> <p>A: 日本語に合う英文を助動詞を用いながら書くことができる。</p> <p>努力: それぞれの助動詞の意味と助動詞を含む文の語順を再度指導する。</p>

は最優先に評価する観点。 は可能な限り評価する観点。

5 本時の指導について

(1) 本時の目標

have to, don't have to を用いて、自分や身の回りのことについて「しなければならないこと / しなくてもよいこと」を英文で話したり書いたりすることができる。(表現の能力)

have to, don't have to を含む英文の構造・意味・用法について正しく理解する。

(言語や文化についての知識・理解)

ホームステイ先で心がけなければならないことを正しく聞き取ることができる。(理解の能力)

(2) 本時の評価と具体的評価規準

評価の観点	A: 十分満足できる	B: おおむね満足できる	C: 努力を要する生徒への具体的対応と手だて
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> 自分の発想で「しなければならないこと」、「しなくてもよいこと」を対になる英語 2 文で話すことができる。 自分の発想で「しなければならないこと」、「しなくてもよいこと」を対になる英語 2 文で書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の日課として「しなければならないこと」、「しなくてもよいこと」を have to と don't have to を用いて正しい語順と相互に関連する内容の連続する 2 文で話すことができる。 自分の日課として「しなければならないこと」、「しなくてもよいこと」を have to と don't have to を用いて正しい語順と相互に関連する内容の連続する 2 文で書くことができる。 	<p>have to の意味とそれを含む英文の語順について再度指導する。</p>
理解の能力	<p>ホームステイでは、ホストファミリーの一員として行動することが大切であることを聞き取ることができる。</p>	<p>ホームステイでは、「英語を話さなければならない」こと、ただし、「完璧な英語でなくてもよい」ことを聞き取ることができる。</p>	<p>You have to speak English. But you don't have to speak perfect English. の 2 文を提示し内容の理解を図る。</p>
言語や文化についての知識・理解		<p>have to の意味や用法、「have to + 動詞の原型」という語順と [f] の発音となることを理解している。</p>	<p>have to の意味とそれを含む英文の語順について再度指導する。</p>

(3) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	評価と・留意点
導入 15分	1 あいさつ 2 Warm up 3 学習課題の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日、日付、天気を英語で答える。 ・教師の提示した絵の内容を表す英文を口頭で練習する。 ・教師の話すホームステイでのアドバイスを聞き、内容を推測する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で表現できない生徒には、日本語で内容を言わせ、その後教師の英語を繰り返させる。 ・海外でのホームステイの話題につなげる。 ・教科書は閉じさせる。教師の演技に集中させ、ピクチャーカードをヒントに音声から理解を図る。
展開 30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 「しなくてはならないこと / しなくてよいこと」 を英語で表現しよう。 </div> 4 目標文の理解 (1) 用法、意味、構造 (2) 音読練習 5 目標文の定着練習 (1) 口頭練習 (2) 筆記練習 6 自己表現活動	<ul style="list-style-type: none"> ・次のことを指摘する。【用法】 しなくてはならないこと(2つ) しなくてもよいこと ・、 がそれぞれ have to / don't have to で表現されていることを理解する。【意味】 ・ have to + 動詞の原型 の語順を理解する【構造】 ・新出語句の発音を練習する。 ・本文の音読練習をする。 ・発表する。 ・絵の内容を [have to- / don't have to -] を用いて英語で話す。 (wash the dishes / walk the dog / do the laundry / clean the room / wash the car / cook lunch / go jogging / do my homework / get up early / use a computer) I <u>have to</u> wash the dishes. But I <u>don't have to</u> wash the car. I <u>have to</u> get up early. But I <u>don't have to</u> walk the dog. I <u>have to</u> keep the diary. But I <u>don't have to</u> do the homework. 一文だけ板書しておく。 ・ ~ の絵から1つの場面を選び、英語でノートに書く。 ・自分の日課として、「しなくてはならないこと / しなくてもよいこと」を連続した2つ以上の文で書き、発表する。 例1) I have to wash the dishes. But I don't have to do the laundry. 例2) I have to get up early. But I don't have to go jogging. 	<p>ホームステイでは、「英語を話さなければならない」こと、ただし、「完璧な英語でなくてもよい」ことを聞き取ることができる。(理解)</p> <p>have to の意味や用法、「have to + 動詞の原型」という語順となることを理解している。(言語・文化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ have to のリンキングと [f] の発音に留意させる。 ・慣れてきたら教科書を見ないで言えるように心がけさせる。 ・場面、状況を連想させながら、関連性のある2文を言わせる。 ・最初は時間がかかっても、考えさせながら最後まで言わせる。 ・徐々にスピーディーに言わせる。 have to と don't have to を用いて正しい語順と適切な内容で英文を話すことができる。(表現) have to と don't have to を用いて正しい語順と適切な内容で英文を書くことができる。(表現) ・ノートに正確に丁寧に書かせる。 have to と don't have to を用いて正しい語順と適切な内容で英文を話し、書くことができる。(表現) ・最低3組以上書かせる。 ・早く終わった生徒には、前後に文を付け足したり、黒板の絵以外の内容を考えさせる。
終末 5分	7 学習の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を整理し、板書の英文を大きな声で滑らかに繰り返す。 ・次時の学習内容について、イメージをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を整理させる(意味・用法、語順、発音)。

(4) 板書計画

Wednesday, September 26
Sunny

絵 (皿洗い)	絵 (犬の散歩)	絵 (洗濯)	絵 (部屋の掃除)	絵 (洗車)	絵 (料理)	絵 (ジョギング)	絵 (宿題)	絵 (早起き)	絵 (コンピュータ)
------------	-------------	-----------	--------------	-----------	-----------	--------------	-----------	------------	---------------

~しなければならな

~しなくてもよい

have to 動詞の原型

don't have to 動詞の原型

I have to . But I don't have to .
(wash the dishes) (cook lunch)

I have to . But I don't have to .

I have to . But I don't have to .



Hint card

食器を洗う
車を洗う
早起き
ジョギング
犬の散歩
部屋の掃除
昼食作り
洗濯をする
宿題をする
日記をつける

wash the dishes
wash the car
get up early
go jogging
walk the dog
clean the room
cook the lunch
do the laundry
do my homework
keep the diary